

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会  
第13回 (S1SC13) 議事録

日 時： 2013年8月19日(月) 13:30~17:20

場 所： 東京都 原安進 第1, 2会議室

出席者： 阿部(弘)主査(東北大)、馬場副主査(JNES)、矢野幹事(原安進)、  
巻上 BWR 幹事(東電)、小野岡委員候補(関電)、鈴木委員候補(原電)、  
工藤代理(大川委員)、小川委員(MHI)、岩本委員(GNF)、本谷委員(東芝)、  
河村委員(電中研)、北島委員(電中研)、黒崎委員(阪大)、杉山委員(JAEA)、  
土内委員(NFI)、近藤委員(日立 GE)、森下委員(京大)、山本(名大)  
計16名(委員候補を含め18名)

常時参加者：久保、谷口、木下(NFI)、金子(GNF)、高橋(MNF)、中島(JNES)、  
福田(MHI)、北野(東芝)、杉村(NEL)

傍聴者： 下川(原安進)

(敬称略)

配付資料

- S1SC13-1 第12回分科会議事録(案)
- S1SC13-2 人事について(案)
- S1SC13-3 報告書案について
- S1SC13-4 第1作業会および第3作業会の進捗状況
- S1SC13-5 第2作業会および第4作業会の進捗状況

**議事及び主な質疑応答**

**1. 資料確認**

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認が行われた。

**2. 出席者確認**

幹事より出席者数(16名)が確認され、本分科会の定足数(退任委員を除く18名)を満たすことが報告された。

**3. 前回議事録(案)の確認について (S1SC13-1)**

幹事より、第12回議事録(案)について報告され、承認された。

**4. 人事について (S1SC13-2)**

幹事より資料13-2に基づき報告し、分科会委員及び第1、2作業会委員の退任及び分科会委員の選任及び第1、2作業会委員新任が承認された。また、新幹事については主

査及び副主査の協議により原安進 下川様が指名された。

①委員の退任

真寄康行、笠井滋、福山智、矢野眞二※

②委員の選任

小野岡博明、鈴木雅克、下川広実

③作業会委員の退任

第1 作業会 真寄康行

第2 作業会 伊藤卓也、笠井滋

④作業会委員の新任

第1 作業会 小野岡博明

第2 作業会 宮地孝政

※：今回の分科会の終了後に退任

## 6. 報告書(案)について (S1SC13-3-1、13-3-2、13-3-3、13-4、13-5)

報告書案について、福田氏、近藤氏より、3部構成の報告書(案)の記載内容について説明し、議論した。また、合わせて各作業会の活動状況も報告された。議論の結果以下を確認した。

- ・ 報告書のタイトルのシステム安全は不明確なので、適切な表現に改めることとする。
- ・ 報告書は次々回のシステム安全専門部会に報告することし、それまでに内容をつめていく。

## 7. その他

前回のシステム安全専門部会への報告資料と議事概要、学会事務局より送付された資料「標準委員会技術レポートについて」について、今回の報告書の取扱はこの文書にのって承認、発刊されることを報告した。また、学会事務局より送付された規制庁委員の取扱について紹介した。

### 次回 開催日

次回の分科会開催日は、9月17日のシステム安全専門部会で、11月の予定を確認後、調整することとした。(10月28日、11月5日、11月11日を予定日とした)

その他：阿部主査より、あらたな勉強会の設立について説明があった。

METIの予算で、原子力学会の下に、安全対策高度化技術基盤のための技術戦略マップ特別専門委員会(関村主査)、SA解析コードの開発検討のための特別委員会(岡本主査)等の

委員会が立ち上がっている。その中で燃料関係の技術課題・研究課題の設定が必要である。しかし、SA 解析コードを考えているグループやリスクマネジメントを考えているグループと燃料屋が考えていることに乖離がある。SA に至るときにマネジメントにどれだけ時間的余裕があるかを考え、アクシデント解析コードに反映していかなければならないと考えている。事象進展を如何に表現できるかは核燃料屋の出番となる。このため、特別専門委員会の下に勉強会を設置する予定である。ここでは、起こりうる事象とその進展の関係を勉強し、どういう知見をアウトプットとして出してかなければならないかまとめていくこととなった。産官学のそれぞれの方々に勉強会への参加をアナウンスさせていただいているところである。燃料だけでなく、SA 解析コードを作る立場の人、炉物理、伝熱、水等を含める。案内は別途送付する。

以 上